

# 研究実施のお知らせ

2018年3月12日 ver.1.0

## 研究課題名

胃切除術の安全性と、胃切除術後予防的腹腔ドレーン留置の意義

## 研究の対象となる方

2012年1月から2020年12月の間に島根大学医学部附属病院で胃切除術を受けられた方

## 研究の目的・意義

### <背景>

胃切除術は、切除可能胃癌症例においては標準治療とされます。近年では腹腔鏡下胃切除術も広く行われるようになり、その安全性も確立してきたと考えられています。一方で、従来から術後に予防的に腹腔内に挿入されていたドレーン（管）は、本邦では挿入するのが一般的ですが、主に欧米では挿入されていません。

### <目的>

そこで、胃切除術を受けた患者群において、胃切除術の安全性に加えて、腹腔ドレーンが術後合併症と術後在院日数に影響を与えうるかについて検討します。

### <意義>

胃切除術の安全性と胃切除術後予防的腹腔ドレーン留置の意義を検討します。

## 研究の方法

診療録（カルテ）から、以下の情報を収集し、検討します。

<身体的情報>年齢・性別・身長・体重など

<血液検査>ヘモグロビン、肝機能、腎機能、腫瘍マーカーなど

<術後ドレーンの排液検査>アミラーゼ（膵液の成分）など

<手術情報>術式、手術時間・出血量、ステージ（病期）など

個人情報保護の観点から収集したデータは匿名化し取り扱います。

## 研究の期間

2012年1月～2022年12月

## 研究組織

この研究は島根大学医学部消化器・総合外科学講座が行います。

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身またはご家族の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229